

施設長各位

障がい者センター長各位

東京都障害者通所活動施設職員研修会

代表 金澤 正義（公印省略）

2026年度 都通研 第1回研修会のお知らせ
津久井やまゆり園事件から10年
彼は私の中にいる ～共生社会につなぐ明日からの第一歩～

陽春の候、新年度を迎え、皆さまにおかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

障害福祉サービスが契約制度に移行して23年、法や制度の枠組みは整えられてきました。しかし、障害者権利条約が掲げる「他の者との平等を基礎とした」社会の実現には、未だ程遠い現実があります。現場では、当事者不在の制度変更と人材難の中、経営や管理に汲々とする事業所が少なくなく、残念ながら虐待案件をはじめとする人権侵害も後を絶ちません。そのような状況の中10年前の津久井やまゆり園での痛ましい事件において、加害者は意味のある命とそうでない命（≡「心失者」）を分けようとしてきました。障害福祉の現場で支援に携わる私たちには、あの事件をどのようにとらえ、どのような実践や動きを構築しようとしてきたのかが厳しく問われており、今一度「我が事」として事件を受け止める必要があると思います。

今回の研修では、午前の基調講演で、事件後も「分けない」ことの大切さを発信し続けているジャーナリストの成田洋樹氏をお招きします。成田氏は、事件を「他人事」とする社会の差別構造や、学びの場を分ける教育が偏見を生んでいる現状を鋭く指摘しています。

成田氏のお話から、これからの障害福祉や共生社会のあり方を皆で再考したいと考えております。

午後は事件前、植松死刑囚とも一緒に津久井やまゆり園で利用者支援に携わり、事件の当事者となった後は現場の立て直しに奔走し、現在は徹底した「意思決定支援」による再生の道を歩む津久井やまゆり園職員・小林氏より、事件の経過をふまえた実践報告をいただきます。その後、基調講演と実践報告を踏まえ、参加者のみなさんとともにグループワークを行います。効率や安全を優先するあまり、利用者の小さな意思を「管理」の名のもとに奪ってはいないかという視点を共有しながら、理想論で終わらせず、明日から各々の現場で実践できる「小さな一歩」を共に見出す時間にしたいと考えています。

グループワークでは、意思決定支援の取り組みをさらに掘り下げ、支援者の視点をどのように変えていくか、特別なセンスがなくても誰もが実践できる支援のポイントや記録の取り方、そして明日から始められる具体的な実践について考える場とします。小林氏の進行のもと、現場での利用者支援につながる学びを参加者同士で深めていきたいと思っております。

経験年数は問いません。新人の方もベテランの方も共に考え、意見交換しましょう。

【講師紹介】

・成田 洋樹（なりた・ひろき）氏

神奈川新聞 記者兼論説委員

1975 年生まれ。2000 年神奈川新聞社入社。2016 年の津久井やまゆり園事件発生を機に、障害者の権利を保障せず差別を温存させている社会の在り方に強い問題意識を抱き、取材活動に注力。事件そのものだけでなく、背景にある「分ける教育・分ける社会」の構造や、支援現場における「対象化」が引き起こす排除の論理を、ジャーナリストの視点から問い続けている。

・小林 智（こばやし・さとし）氏

社会福祉法人かながわ共同会 統括管理室意思決定支援推進担当主任

津久井やまゆり園事件の当事者として、現場の再生と利用者の尊厳回復に尽力。現在、同園にて取り組まれている「徹底した意思決定支援」の推進役として、買い物や外出など「当たり前の生活」を積み重ねるための実践をリードしている。

記

1. 主催 東京都障害者通所活動施設職員研修会（都通研）

2. 日時 2026 年 5 月 28 日（木）9:35～16:20

※研修終了後、16:30 より「2026 年度 都通研総会」を開催いたします。

20 分ほどの予定ですので、お時間の許す方はぜひご参加ください。

3. 開催形式（集合＋オンライン）ご都合に合わせて参加いただけます。

●会場（対面参加）：

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 401 研修室

●オンライン参加方法：

Zoom（URL・ログイン情報は後日お知らせします。）

*著作権および資料の取り扱いについて 本研修で使用する資料の一部には、著作権の関係上、オンライン配信（画面共有）ができないものや、データの事前配布に含まれないものがございます。これら特定の資料については、当日会場での投影・閲覧のみに限定させていただきますので、予めご了承ください。

4. タイムテーブル（予定）

※ 都合により時間・内容の一部が変更される場合があります。

9:00 受付開始

- 9:35 開会挨拶 都通研代表
- 9:45 基調講演：
『分けない』社会を目指して ～記者の視点から問い直す福祉と社会の分断～
講師：成田 洋樹 氏（神奈川新聞 記者兼論説委員）
- 11:45 昼休憩
- 12:45 実践報告：「津久井やまゆり園の現在と意思決定支援の取り組み」
講師：小林 智 氏
(社会福祉法人かながわ共同会 統括管理室意思決定支援推進担当主任)
- 14:25 休憩
- 14:40 グループワーク：「明日からの実践ワーク：無意識の壁を越えて」
進行：小林 智 氏
- 15:45 グループ発表 ・まとめ
- 16:15 事務連絡（アンケート記入、第 2 回研修案内）
- 16:20 研修会終了
- 16:30 総会
- 16:50 終了 解散

5. 参加申し込み方法

都通研ホームページからお申し込みください。（「都通研」で検索） [ホームページはこちら↓](#)

会場定員 80 名 オンライン定員 30 名

申し込み締め切り：5 月 20 日（水）

※期限内でも定員に達した場合は締め切らせていただきますので
ご了承ください。



6. 事前アンケートのお願い

当日の議論の参考にさせていただきます。

お忙しいところ恐縮ですが、ご協力いただけますと幸いです。 [アンケートはこちら↓](#)

右の QR コードまたは以下のリンクよりアンケートにご回答ください。

[事前アンケート URL]

<https://forms.gle/s9K6F1VfBGv6Gk726>

回答締切：5 月 20 日（水）



7. 参加費について

受付完了後、事務局よりメールを送信します。内容をご確認の上、指定口座へ参加費をお振込みください。

入金期限：5 月 21 日（木）

金融機関名 : 三菱 UFJ 銀行 国分寺駅前支店
口座番号 : 普通 0050796
口座名義 : 東京都障害者通所活動施設職員研修会 代表 金澤正義

- 都通研会員 : 3,000 円
- 非会員 : 5,000 円
- ご家族 : 3,000 円

※ 恐れ入りますが、振込手数料は参加者のご負担となります。

【お願い】

- ①参加費をお振込みの際は、できるだけご名義の前に「本受付番号」を付けてお手続きください。法人のご名義など個別対応ができない場合は、お手数ですが事務局までご連絡いただき、振込人名義と着金予定日をお知らせくださるようお願いいたします。
- ②前日及び当日のキャンセルは、ご返金いたしかねますのでご了承ください。
- ③当日、参加者による講義の録音及び録画、写真撮影はお断りさせていただいております。
- ④講義レジュメについて 今回の研修資料類は PDF データ形式での事前配布とし、申し込み・ご入金確認後、申し込み時のメールアドレス宛にお送りします。お手数ですが、ご自身で印刷等ご用意いただき当日お持ちください。資料が届かない場合は、開催前日の5月27日までに事務局にお問い合わせください。

[お問い合わせ]

東京都障害者通所活動施設職員研修会（都通研）
住 所：〒185-0021 国分寺市南町 2-11-14 トミービル 3F
電 話：042-300-1366
FAX : 042-300-1367
Email : ttken@tshien.jp

以上